

## NY マーケットレポート (2014 年 5 月 6 日)

昨夜の NY 外国為替市場は、欧州市場の流れを引き継ぎ、ドル円・クロス円は軟調な展開で始まりました。ウクライナ情勢の緊迫化に対する懸念や、タイの政情不安が引き続き材料視され、安全通貨とされる円を買う動きが優勢となりました。また、欧米の株価が下落したことや、米貿易赤字が前月から縮小したものの、予想ほど改善しなかったこと、米景気楽観指数が予想を下回る結果となったことも、ドル円・クロス円の圧迫材料となりました。しかし、終盤にはやや値を戻す動きとなりました。

## 2014/ 5/ 6 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.00	102.19	101.98
EUR/JPY	142.00	142.07	141.58
GBP/JPY	172.75	172.81	172.21
AUD/JPY	94.93	95.02	94.59
EUR/USD	1.3922	1.3930	1.3872

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.08	101.70
EUR/JPY	142.08	141.75
GBP/JPY	172.96	172.63
AUD/JPY	95.14	94.84
EUR/USD	1.3944	1.3912

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	休場	
ハンセン指数	休場	
上海総合	2028.04	+0.68
韓国総合指数	休場	
豪ASX200	5481.38	+19.15
インドSENSEX指数	22508.42	+63.30
シンガポールST指数	3245.56	+3.96

\*香港市場はBuddha's birthdayで休場

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6798.56	-23.86
仏CAC40	4428.07	-34.62
独DAX	9467.53	-62.97
ST欧州600	336.04	-0.85
西IBEX35指数	10481.40	+4.40
伊FTSE MIB指数	21521.65	-118.31
南ア 全株指数	48942.02	+61.21

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.69	101.79	101.50
EUR/JPY	141.63	141.91	141.36
GBP/JPY	172.63	172.83	172.36
AUD/JPY	95.11	95.17	94.90
NZD/JPY	88.94	89.23	88.80
EUR/USD	1.3930	1.3952	1.3919
AUD/USD	0.9354	0.9368	0.9336

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16401.02	-129.53
S&P500	1867.72	-16.94
NASDAQ	4080.76	-57.30
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	14612.29	-84.74
ボルサ指数	41470.82	+422.94
ボベスパ指数	53779.74	+333.57

### 5/7 経済指標スケジュール

08:01	【英】4月BRC店頭価格指数
08:30	【豪】4月AiG建設業指数
08:50	【日】4月日銀金融政策決定会合・議事要旨公表
10:30	【豪】3月小売売上高
10:45	【中】4月HSBC非製造業PMI
11:30	【香港】4月購買部景気指数
14:45	【スイス】4月失業率
15:00	【独】3月製造業受注
15:45	【仏】3月鉱工業生産
15:45	【仏】3月貿易収支
15:45	【仏】3月製造業生産指数
20:00	【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
21:30	【カナダ】3月住宅建設許可
21:30	【米】1Q非農業部門労働生産性
04:00	【米】3月消費者信用残高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1308.60	-0.70
NY 原油	99.50	+0.02
CMEコーン	513.00	+9.75
CBOT 大豆	1464.00	-8.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.42%	0.42%
3年債	0.88%	0.87%
5年債	1.68%	1.68%
7年債	2.21%	2.21%
10年債	2.59%	2.61%
30年債	3.38%	3.41%

### 5/7 主要会議・講演・その他予定

- ・スタインFRB理事 講演
- ・米10年債入札
- ・南アフリカ大統領・地方選挙

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.78 ユーロ/円 141.87 ユーロ/ドル 1.3939

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6802.69	-19.73	ダウ INDEX FUTURE	16451	+7
仏 CAC40	4452.38	-10.31	S&P500 FUTURE	1867.20	+0.40
独 DAX	9493.55	-35.95	NASDAQ FUTURE	3592.25	+1.50

(出所:SBILM)

21:30

《 経済指標の結果 》

3月米貿易収支 -404億USD (予想 -400億USD・前回 -419億USD) 前回発表の-423億USDから-419億USDに修正



(出所:ブルームバーグ)



指標結果データ

《米貿易収支》

	3月	2月	1月	12月	11月	前年同月
入出超	-403.7	-418.7	-392.8	-389.8	-351.7	-365.6
輸出	1939.1	1899.6	1924.6	1912.9	1946.4	1847.6
輸入	2342.9	2318.4	2317.4	2302.6	2298.1	2213.2

(単位 億ドル)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

3月カナダ国際商品貿易 0.8億CAD (予想 3.0億CAD・前回 8.5億CAD) 前回発表の2.9億CADから8.5億CADに修正



(出所:ブルームバーグ)

21 : 50

イタリア 10年債利回り、初めて3%下回る。

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月メキシコ消費者信頼感指数 90.3 (予想 90.0・前回 88.8)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16469.29	-61.26
ナスダック	4125.67	-12.39

(出所:SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月IBD/TIPP景気楽観指数 45.8 (予想 47.9・前回 48.0)



(出所:SBILM)

## 指標結果データ

### 《IBD/TIPP 景気楽観指数》

	5月	4月	3月	2月	1月	12月	11月
景気楽観指数	45.8	48.0	45.1	44.9	45.2	43.1	41.4
半年先の景気先行	43.1	45.7	42.8	43.8	44.3	41.0	38.1
資金繰り見通し	55.5	58.2	54.4	54.1	56.1	52.8	52.2
政府の政策信頼度	38.9	40.2	38.2	36.8	35.1	35.7	33.8

23:00

### 《 経済指標の結果 》

4月カナダ Ivey 購買部協会指数 54.1 (予想 54.5・前回 55.2)



(出所:ブルームバーグ)

23:30

### 《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、緊迫するウクライナ情勢への懸念や、タイの政情不安を背景に、高値警戒感による利益確定の売りが優勢となり、主要株価は軟調な動きとなっている。

### 《 経済指標のポイント 》

(1) 3月の米貿易収支では、赤字額が前月比-3.6%の403億7800万ドルとなり、4カ月ぶりに減少となった。中国など新興国向け輸出が伸びたことや、自動車関連の輸出額が増加したことが赤字縮小に寄与した。

①輸入総額は+1.1%の2342億8800万ドル。半導体や携帯電話・その他家庭用品が増加し、原油や液化石油ガス、電算機は減少した。

②輸出総額は、+2.1%の1939億1000万ドル。モノの貿易赤字は+10.1%の505億6100万ドル。サービスの輸出金額は588億1400万ドルで過去最高の大きさだった。

③国別では、対日赤字が+12.9%の59億4200万ドル。対中赤字は-2.2%、対EU赤字は+26.7%となった。



(2) 5月のIBD/TIPP景気楽観指数は、45.8と前月から2.2ポイント低下となり、判断基準となる50を19ヵ月連続で下回った。半年先の景気見通しが43.1(前月45.7)、資金繰り見通しが55.5(58.2)、政府の政策信頼度が38.9(40.2)といずれも前月を下回る結果となった。IBD/TIPP指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目されており、50を上回ると楽観的と判断する。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6798.56	-23.86
仏 CAC40	4428.07	-34.62
独 DAX	9467.53	-61.97
ストック欧州 600 指数	336.04	-0.85
ユーロファースト 300 指数	1343.23	-4.36
スペイン IBEX35 指数	10481.40	+4.40
イタリア FTSE MIB 指数	21521.65	-118.31
南ア アフリカ全株指数	48942.02	+61.21

(出所:SBILM)

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、大手金融の決算内容が嫌気されて、欧州企業の業績に対する警戒感が広がったことから、主要株価は軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

### 米主要株価・中盤

ダウ 16464.02 (-66.53)、S&P500 1877.17 (-7.49) ナスダック 4119.67 (-18.39)

### 《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、米国株の下落につれて投資家のリスク回避志向が広がり、長期債を中心に安全資産とされる米国債を買う動きがやや先行した。ただ、3年物国債入札を控えて様子見ムードも強く、短中期債を中心に小動きとなった。

午前の利回りは、10年債が3.39%（前日3.40%）、10年債が2.60%（2.61%）、7年債が2.21%（2.21%）、5年債が1.68%（1.68%）、3年債が0.88%（0.88%）、2年債が0.42%（0.42%）。

### 《 欧州のポイント 》

①4月のユーロ圏サービス業景気指数は53.1となり、3月の52.2から上昇した。速報値と一致し、2011年6月以来の高水準となった。サービス業と製造業を合わせた総合景気指数は54.0で、3月の53.1を上回る結果となった。ユーロ圏では、スペインとアイルランドの4月のサービス業活動が経済危機以降で最も早いペースで拡大した。イタリアでも拡大に転じ、域内全体では約3年ぶりの高いペースとなった。

サービス業の拡大ペースの加速は、ECBが利下げや他の非伝統的な措置が必要だと考える確率をさらに低下させるとの指摘もあり、今週のECB定例政策委員会で、デフレ回避に向けた追加刺激措置を見送るとの見方も出ている。

②OECD（経済協力開発機構）は、ECBは低インフレの長期化に対応するため、主要政策金利をゼロに引き下げ、1年半以上その水準を維持する必要があるとの見方を示した。OECDは半期毎に発表するユーロ圏経済見通しで、「基調としての非常に低いインフレ率と経済の大きな緩みは数四半期にわたり存在し続ける」との見通しを示した。「それ故、リファイナンス金利はゼロまで引き下げ、中銀預金金利は可能ならば若干マイナスの水準にする必要があり、少なくとも2015年末までその水準で維持されるべきだ」とした。

OECDは、「インフレ率がECBの目標まで回復する明確な兆しがない場合、やデフレ状況が発生する恐れがある場合」は一段の非標準的措置を講じる必要があると指摘。これには、証券市場プログラムの不胎化の停止や新たな3年物長期流動性供給オペ（LTRO）の実施が含まれるとした。「国債または社債の購入、民間非金融部門への貸し出しを促進するプログラムも想定される」との見解を示した。

③ドイツやフランスなどEUの10カ国は、株式などの売買に課税する金融取引税を遅くとも2016年1月1日に先行導入することで合意したことを、EU財務相理事会で明らかにした。当初は11カ国が先行導入を決めていたが、今月首相が辞任を表明したスロベニアは合意に加わらなかった。合意内容は、課税対象を当面、株式と一部のデリバティブに限定。今年末までに欧州委員会とともに細部を詰め、法案を作成する。EUでは、金融機関の投機的な取引を抑制し、応分の税負担を求めることを導入の目的としている。全加盟国での導入を図ったが、欧州最大の金融市場ロンドンを抱える英国などが反対し、一部による先行導入が決まった。

④ECBは、ユーロ圏国債の買い入れオペで供給された流動性を市場から吸収する不胎化オペを行った。吸収額は1655億3300万ユーロ（2297億3000万ドル）で、目標の1675



億ユーロを下回った。目標を下回るのは4週連続となった。応札行は158行、加重平均金利は0.23%。

1:20

FRBは、ニューヨーク連邦準備銀行を通じた公開市場操作により、10.12億ドルの米長期国債の買い取りを実施した。

2:00

《米財務省3債入札》

最高落札利回り・・・0.928%（前回 0.895%）  
 最低落札利回り・・・0.845%（前回 0.819%）  
 最高利回り落札比率・・・65.04%（前回 10.58%）  
 応札倍率・・・3.40倍（前回 3.36倍）

《ポイント》

OECD（経済協力開発機構）は、米経済について、第2・四半期は冬場の寒波の影響が和らぎ、前四半期から大幅に回復するとの見通しを示した。一方、インフレ圧力は2015年を通じて落ち着いた状態が続くとした。第2・四半期のGDPは年率で3.9%成長を予想、年間の米成長見通しについては2014年が平均で2.6%、2015年が3.5%とした。また、2014年の中国経済成長率予想を、11月時点の8.2%から7.4%に下方修正し、昨年の7.7%から減速するという見通しを示した。当局によるシャドーバンキングの取り締まり、鉄鋼やセメントといった業種の過剰生産能力の抑制に向けた取り組みとともに不動産市場の冷え込みを挙げた。報告書で、「過剰生産能力の段階的解消や腐敗撲滅運動の影響を景気支援策で相殺することができない場合は、投資は予想以上に減速する可能性がある」と指摘。「不動産市場の冷え込みが住宅関連の消費を弱め、弱い収入の伸びが耐久消費財支出を抑えることになった場合、消費は予想以上に弱くなる可能性がある」と警告した。

3:20

NY金は、中心限月が前日比0.70ドル安の1オンス=1308.60ドルで取引を終了した。

4:30

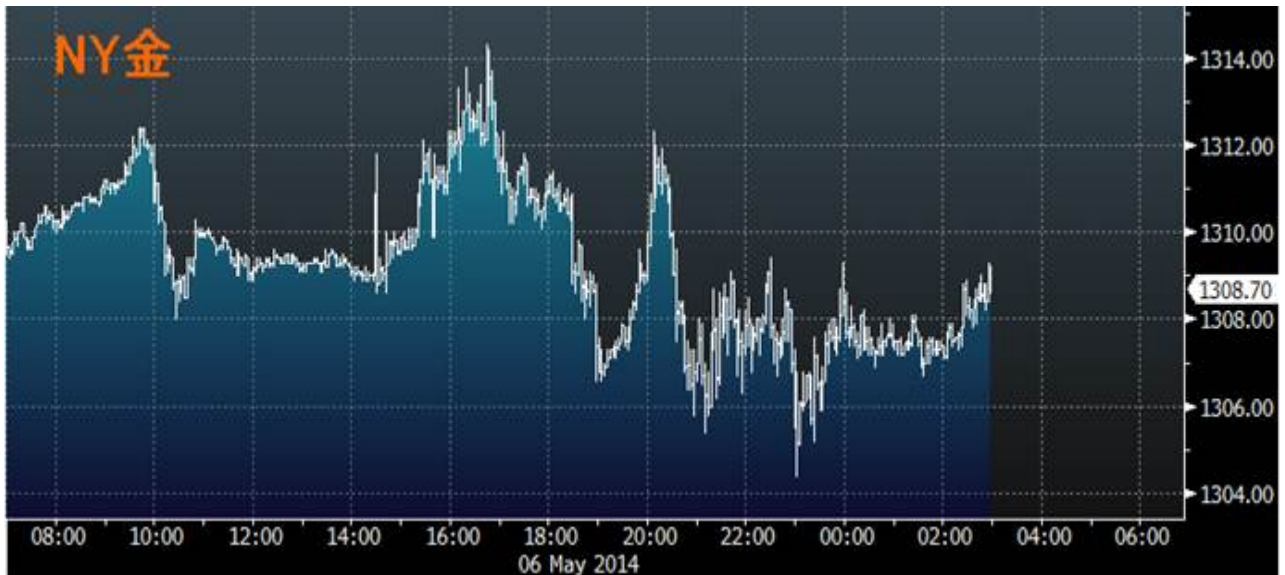
NY原油は、中心限月が前日比0.02ドル高の1バレル=99.50ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1308.60	-0.70
NY 原油	99.50	+0.02

（出所：SBILM）

### 《 NY 金市場 》

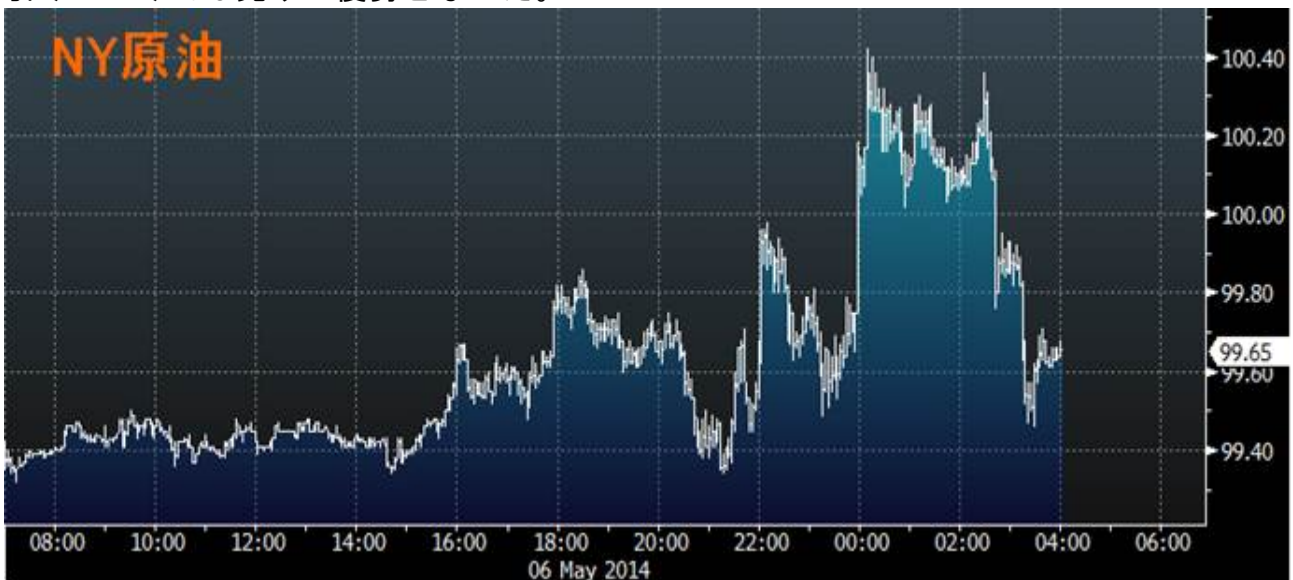
NY金は、前日までの相場上昇を受けて、利益確定の売りが先行した。ただ、ウクライナ情勢をめぐる緊張が一段と高まるとの懸念から比較的安全な資産とされる金に資金を避難させる動きも出やすく、下げ幅は限定的だった。



(出所:ブルームバーグ)

### 《 NY 原油市場 》

NY原油は、WTI原油の引き渡し地点の原油在庫が減少傾向にあるほか、ドルが主要通貨に対して下落となり、ドル建ての原油先物に割安感が出たことが材料となり堅調な動きとなった。しかし、米石油在庫統計で原油在庫が記録的な高水準になるとの見方から、引けにかけては売りが優勢となった。



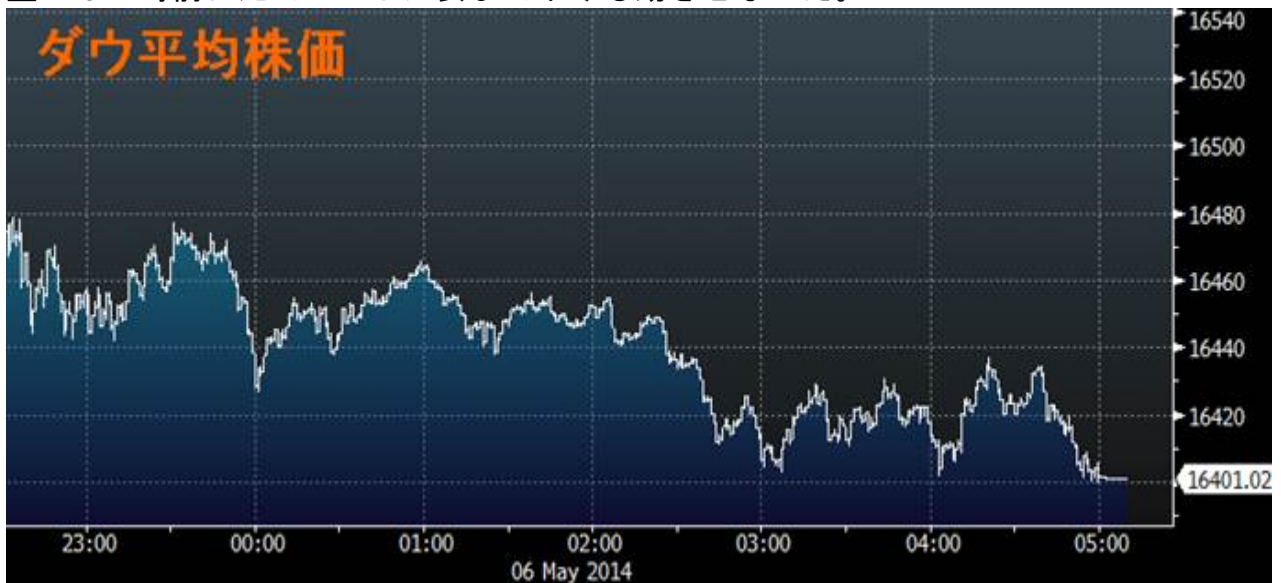
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16401.02	-129.53	16529.85	16399.99
S&P500 種	1867.72	-16.94	1883.69	1867.72
ナスダック	4080.76	-57.30	4132.46	4080.76

(出所: SBILM)

### 《米株式市場》

米株式市場は、緊迫するウクライナ情勢への懸念や、タイの政情不安を背景に、主要株価は軟調な展開で始まった。また、高値水準にあることから、利益確定の売りも出るなど、主要株価は軟調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な展開が続き、終盤には一時前日比で130ドル安まで下げる動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.69	101.79	101.50
EUR/JPY	141.63	141.91	141.36
GBP/JPY	172.63	172.83	172.36
AUD/JPY	95.11	95.17	94.90
NZD/JPY	88.94	89.23	88.80
EUR/USD	1.3930	1.3952	1.3919
AUD/USD	0.9354	0.9368	0.9336

(出所: SBILM)



## 《外国為替市場》

外国為替市場は、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、株価が下落したことや、米経済指標が市場予想を下回る結果となったことから、比較的安全塩さんとされる円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。終盤には、株価がやや下げ幅を縮小したことから値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。